

Hi, friends 2 Lesson 3 第1時

6 本時の学習 (1 / 4)

(1)本時のねらい : 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知る。

(児童のめあて… 例: 「できる」「できない」の表現を知ろう!)

(2)評価規準 ○ 言語や人、それぞれに違いがあることに気づいている。(言語・文化に関する気づき)

(3)展開

過程	児童の活動	学級担任 (T 1) の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ)(慣)(気) 評価規準 < > 評価方法 ◆他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !”	“Let’s start !”	
導入	○先生のできること、できないことを知ろう。 ・先生の「できること」「できないこと」の紹介を聞く。 ・先生の質問に答える。 (Yes、No だけでよい)	・絵カードを見せながら「できること」「できないこと」を紹介する。 I can ~ . I can’t ~ . ・絵カードを見せながら児童に「Can you ~?」と尋ねる。	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーをつけることで can と can’t の意味の違いに気づかせる。 ・けん玉やリコーダー等、実際にやって児童に見せられると興味づけになる。 (気)言語や人、それぞれに違いがあることに気づいている。 < 行 動 観 察 >
展開	○本日のめあてを知る。 OP.10【Let’s Play 1】 ポインティングゲーム ・P.10 の絵について、先生が言ったものを指さす。(指をそのままにして次の絵を別の指でさす形で) ○ジェスチャーゲーム ・先生のジェスチャーを見てどんな動作を表しているか考え、先生の合図で一斉に英語で答える。 ・希望者は前でジェスチャーをする。 ・前の児童のジェスチャーを見て答えを考え先生の合図で一斉に答える。 OP.11【Let’s Listen】 どんなことができるか、できることを○で、できないことを△で囲もう。 ・音声を聞いて、○と△をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・本日のめあてを伝える。 ・P.10にある動作表現を I can ~ . を使って言う。 ・児童の様子を見ながら何度か聞かせ、全員が絵を指示した後に絵カードを提示して確認する。 ・P.10にある動作の中から1つ選び、ジェスチャーで表現する。 ・合図で一斉に答えを言わせる。 ・希望者を募り、他の児童には見えないように掲示用絵カード(動作)を提示して、その動作を表すジェスチャーをするよう伝える。 ・デジタル教材を聞かせる。 ・答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> (気)言語や人、それぞれに違いがあることに気づいている。 < 行 動 観 察 > ☆掲示用絵カード(動作)
挨拶	○ふり返しカードに記入し、発表 ○終わりの挨拶 “Let’s finish !”	○ふり返しカードを配付。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish !”	☆ふり返しカード